

(様式第1号)(第2条16号関係)  
別紙

## 福祉サービス第三者評価の結果

### 1 評価機関

名称：箕輪町立 三日町保育園	所在地：上伊那郡箕輪町大字三日町 1457
評価実施期間： 令和7年10月17日から令和8年2月27日 *契約日から評価結果の確定日(通常、評価結果報告会日)まで	
評価調査者(評価調査者養成研修修了者番号を記載) 50431 B2020065 B2025009	

### 2 福祉サービス事業者情報(令和7年12月現在)

事業所名： (施設名) 箕輪町立三日町保育園	種別：保育所	
代表者氏名： 町長 白鳥 政徳 (管理者氏名) 園長 中村 美幸	定員(利用人数)： 60(50)名	
設置主体：箕輪町 経営主体：箕輪町	開設(指定)年月日： 昭和31年5月1日	
所在地：〒399-4603 上伊那郡箕輪町大字三日町1457		
電話番号：0265-79-2100	FAX番号：0265-79-2100	
電子メールアドレス：mikamachi@town.minowa.lg.jp		
ホームページアドレス：town.minowa.nagano.jp		
職員数	常勤職員： 4名 非常勤職員 17名	
専門職員	(専門職の名称) 名 保育士 13名	
	園長 1名 調理員 3名	
	保育士 3名 保育補助員 1名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	乳児室 1室	ブランコ・滑り台・ジャングルジム
	ほふく室 1室	球型ジャングルジム・シーソー
	保育室 3室	鉄棒・築山・砂場・登り棒・雲梯
	調理室 1室	スプリング遊具・アスレチッククライム
	事務室 1室	
	遊戯室 1室	

### 3 理念・基本方針

#### 【箕輪町の保育理念】

子ども一人一人を大切に、保護者や地域に愛される保育園を目指します。

#### 【保育方針】

1. 養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を支援します。
2. 保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをします。

### 【三日町保育園 園目標】

- 元気よくあいさつをしよう
- 自然の中で伸び伸びとあそぼう
- やさしい気持ちを持とう

## 4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

### 【箕輪町の特徴】

箕輪町では『箕輪町第5次振興計画（2016年～2025年）』及び『箕輪町子ども・子育て支援計画（令和2年～令和7年）』が策定されています。これまで取り組んできた[やまほいく][食育][運動遊び][英語遊び][読育]を織り交ぜ、各園独自の『みのわっこチャレンジ事業』に基づいたランドデザインを作成し、各保育園の特徴を生かした保育を目指しています。

### 【三日町保育園の特徴】

三日町地区は大自然と市街地、新しい活力と古くから伝わる資源や文化が共生した地区です。天竜川を挟み、東側は天龍川沿いに農地・住宅地が開け、河岸段丘を登ると自然豊かな農村風景が広がり広大な高原へと続いています。西側は国道153号バイパスの開通により近年大きな発展を遂げており、商工業が集積し賑わいと活力ある地域となっています。

三日町保育園は昭和31年5月に開設し、昭和60年12月に改築されました。箕輪町の南東に位置し、竜東線のすぐ西で田んぼと住宅に囲まれ、歴史豊かな福与城址や社会福祉施設や子ども発達支援事業所「若草園」と隣接し、自然と人とのふれあいが豊かにもてる場所に位置しています。自然体験のできる散歩コースにも恵まれ、春や秋には福与城址、季節の花や生き物が生育できる場所である『生き物の里』、福与城址跡、三射山神社まで足を伸ばしています。定員は60名で入園児は50名と箕輪町7園の中では小規模な保育園であり、長時間保育、未満児保育、障がい児保育、ふれあい保育、育児相談・未就園児への園開放（のんたん）を行っています。

### ○健やかなこどもの身心の育ちを支える活動に力を入れています。

- ・自然の中で思いきりあそぶ機会が多く、近隣の自然探索、土手滑りも体験します。虫とり網で虫を捕まえて虫かごで育てる経験をしています。
- ・心に残る絵本の読み聞かせを行っています。月1回『ダンボの日』と名付けて年間計画に入れクラス担任以外の保育士が各クラスを順番に巡り、絵本の読み聞かせを行っています。また、月刊行絵本の購入をしたり絵本の貸し出しを行ったりしています。
- ・プランターで野菜づくりの体験をして、できた野菜を給食で調理してもらい食べる食育活動を行っています。
- ・外部講師による音楽あそびでは、季節の歌や体を使って音楽を楽しむ遊びを導入して楽しんでいます。
- ・年長児は外部講師による運動遊びで様々な運動を経験し、年中児と共にサッカー教室に参加します。年中児はパカパカ塾で乗馬体験をしています。

### ○開かれた保育園を目指しています。

- ・地域の文化祭への園児の作品展や遊戯参加を行い交流の機会を作っています。
- ・中学生職場体験を受け入れています。
- ・年1回『のんたんの日』を計画して、未就園児親子を対象とした園開放で、交流の機会を作っています。
- ・隣接している子ども発達支援事業所「若草園」との交流を行っています。
- ・親子交通安全教室を行っています。
- ・地域の小学校（箕輪南小学校）との交流を行っています。
- ・保護者との個別懇談、育児相談等を行い子育てのパートナーとして保護者を支援できるよう目指しています。

## 5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	2回（令和3年度）
---------------	-----------

## 6 評価結果総評（利用者調査結果を含む）

### ◇特に良いと思う点

○自然の中で子どもが主体的に活動できる環境があり、信州型自然保育「やまほいく」認定園になっています。

豊かな自然環境や地域資源を積極的に取り入れた保育の普及を図ることで、信州で育つ全てのこどもが心身ともに健やかに成長できる環境を整備するための制度である「信州型自然保育やまほいく」の認定を受けています。従来から、福与城址の散歩、土手滑り等の自然公園等の恵まれた環境を生かし、自然と触れ合う中で戸外遊びを積極的に実施しており、こどもが主体的に活動でき、生活と遊びを豊かにする保育を展開しています。

○伝統的な「運動遊び」を取り入れ、こどもが主体的に活動できる環境があります。

箕輪町の「運動遊び」の発祥の保育園であり、運動で体を動かして遊ぶ楽しさを知る運動あそびを専門の講師の指導により実施しています。身体発達の促進と共にこどもが主体的に活動できることを目指して取り入れています。

○業務支援システムを導入しITC活用されています。

箕輪町では全園で令和元年度から「箕輪町保育園業務支援システムアプリ：コードモン」を導入しています。登降園の管理の他、健康記録、行事予定、園だより、クラスだより、写真購入などを保護者に向けて配信しています。

○小規模園ならではの保育・支援や配慮の必要なお子さんへの保育

昨年度まで「若草園」の園長だった職員が保育園長であり、発達支援への視点からの環境構成やあそびなどを職員と一緒に取り組まれています。定期的な巡回で各専門家が保育の現状を見て助言をし、それを取り入れています。どの子にとっても分りやすく動きやすい環境が用意され、小規模園の良さとしても、園全体でアットホームな雰囲気があります。

### ◇改善する必要があると思う点

○外部からの侵入に対してのセキュリティーの弱さ

園舎を囲む柵の高さが低めで施錠も不十分な状況があり、利用者調査でも複数の保護者から防犯と危機管理についての不安があるとの声が聞かれました。広い園庭での遊びの際には必ず複数の保育士が見守り連携をとりあうなどの工夫と対応も大事です。町の担当課との協議のもと、安心安全な柵の設置に向けた計画的な改善対策の推進についても期待します。

○保育士不足の改善

こども総数に対して基準の職員人数の確保はありますが、支援や配慮の必要なお子さんへのゆとりある保育が難しく目が行き届かない状況がある様子です。全てのこどもに目が行き届き、安心安全を含め十分な養育支援ができる職員配置に向けての取組を期待します。

○園全体の保育運営への職員の理解の促進

今回の職員自己評価結果では、各項目について「知らない・わからない」への回答が多い状況がありました。園長は周知していても職員の理解がまだ追い付いていなかったり、各自が目の前の日々の保育に手いっぱい園全体の運営などに目が向けられていなかったりする状況もあるようです。周知状況を確認しながら対応されることを期待します。

○保護者へのきめ細やかな伝達

園内でのトラブルも含め、園でのこどもの様子について、保護者が状況を理解し納得できるような丁寧な説明と対応で、保護者の安心感を更に高められるような取組を期待します。

○地域社会との交流や体験活動の積極的な取組

コロナ禍以降、地域の方と園児との交流の機会が減り、取組が低下しているようです。地域の資源を活用し様々な方との交流の機会や体験の場づくりについて取り組まれることを期待します。

**7 事業評価の評価（詳細）と講評**

- ・ 共通評価項目（別添 1）
- ・ 内容評価項目（別添 2）

**8 利用者調査の結果**

- ・ アンケート方式(別添 3-1)

**9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添 4）**